



知られにより訪れた米玄が拾ってきて寺の宝物にしたという話が伝わっています。その巻物は、西巖寺で大切に保管されています。

6. 福島潟放水路



放水路管理所



豊栄潮止堰



棕堰

1966-67(昭和41-42)年の大水害をきっかけに放水路建設が計画されました。計画から35年、2003(平成15)年3月16日に完成しました。長さは6.7kmです。福島潟の水位が高くなったとき、その水を直接日本海へ流し、北区や潟周辺の水害を防ぎます。初稼働は2004(平成16)年7月13日です。放水路には20の橋がかかり、豊栄潮止堰と棕堰の2つの堰があります。また、途中には新発田川と交差する川の十字路があります。

7. 内島見観音堂・仁王堂 (国登録有形文化財)



内島見観音堂

浦原33観音霊場の第28番札所で、昔から観世音菩薩の霊域として近在の人々から厚く信仰されています。聖観音菩薩像は弘法大師の作で、新発田の豪族 岩村忠左衛門成郷が寄進したと伝わっています。現在の観音堂の堂宇は、1865(元治2)年に再建されたもので、細かな補修はあるものの、建築当初の姿をとどめています。また、仁王堂は山門形式の堂宇です。新発田市の二王子神社より1872(明治5)年に貰い受けた仁王像を安置するため、1901(明治34)年に建立し、こちらも建築当初の姿をとどめています。

8. 木崎村小作争議記念碑



木崎村小作争議は、1922～1930